

今週（8月18日から8月22日）の短期金融市場動向

●無担保コール市場

今週の無担保コールO/N物は、引き続きビッドサイドの資金調達ニーズが旺盛にみられたため、出合レートの水準に大きな変動はなく、落ち着いた相場展開となった。また、今週は試し取りによる調達も見られなかったことから、21日(木)までの加重平均レートは、0.476～0.477%で安定して推移し、22日(金)も概ね同水準での取引となった。

ターム物は、1W～3M程度の期間で引き合いが見られたが、引き続き証券業態を中心に資金調達ニーズの弱い展開となった。また、オファーサイドの一部からは10月会合での追加利上げを織り込み、レート目線を引き上げる動きもみられた。

日銀当座預金残高は、522兆円台での推移が続いたが、21日(木)に財政資金の払い、国債買入オペを受けて524兆円まで増加した。しかし、22日(金)には国債発行要因により再び減少した結果、523兆円台前半での着地見込みとなった。

●レボ市場

今週のレボ市場は、0.49～0.50%で推移した。参加者のオファー姿勢がしっかりと見られたことから、週を通して高めのレートで安定して推移した。

SC取引の個別銘柄では、2Y460～474回、5Y150～178回、10Y355～379回、20Y180～192回、30Y65～85回、40Y13～17回などで引き合いが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、1Yゾーンが入札を通じてレート水準の調整がなされた。

19日(火)に実施された1Y物入札は、前回債対比でレートが上昇する展開となったが、結果発表後のセカンダリーでは底堅く推移した。22日(金)に実施された3M物入札は、無難な結果となったが、その後のセカンダリーでは小甘く推移した。

●CP市場

今週のCP市場は、電気・ガス業、鉱業、小売業など、複数の業態で大型発行が行われた。

市場残高は、週を通して26兆円前後で推移した。

発行レートは、引き続き0.5%以上で推移し、銘柄や投資家の運用目線によりばらつきがみられた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均株価 (円)	新発10年国債 利回り (%)	為替 (ドル/円 中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レボレート (T+1 ON・%)	日銀当座預金残高 (億円)
8/18 (月)	43,714.31	1.570	147.46	0.477	0.490	5,228,200
8/19 (火)	43,546.29	1.590	147.83	0.477	0.491	5,225,700
8/20 (水)	42,888.55	1.605	147.60	0.476	0.491	5,222,200
8/21 (木)	42,610.17	1.605	147.40	0.476	0.491	5,240,700
8/22 (金)	42,633.29	1.614	148.44	0.476	0.495	5,235,000

来週（8月25日から8月29日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
8/25 (月)	6月の景気動向指数改訂状況(内閣府 14:00)				7月の米新築一戸建て販売件数 London祝日(Summer Bank Holiday)
8/26 (火)	7月の企業向けサービス価格指数(日銀 8:50)		流動性供給 8/27発行 3,500億円	交付税借入 9/3借入 10,500億円	6月のS&P/ケース・シラー住宅価格指数 7月の米耐久財新規受注 8月の米CB消費者信頼感指数
8/27 (水)					
8/28 (木)	中川審議委員 山口県金融経済懇談会における挨拶		2Y 9/1発行 26,000億円	交付税借入 9/10借入 9,950億円	4-6月期の米GDP改定値
8/29 (金)	8月の都区部消費者物価指数(CPI 総務省 8:30) 7月の労働力調査(完全失業率 総務省 8:30) 7月の一般職業紹介状況(有効求人倍率 厚生労働省 8:30) 7月の鉱工業生産・出荷・在庫速報(経済産業省 8:50) 7月の商業動態統計速報(経済産業省 8:50) 7月の住宅着工統計(国土交通省 14:00) 8月の消費動向調査(内閣府 14:00)	TDB3M 9/1発行 43,000億円			7月の米個人所得・消費支出(PCE) 8月のシカゴPM景況感指数

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
8/25 (月) 日銀予想	0	6,900	6,900	CP買入 社債買入 国債補充	▲ 300 ▲ 400 700		0	6,900	TB3M発行▲43,000償還45,000 国有林野借入▲949期日1,000
8/26 (火) 弊社予想	500	▲ 2,500	▲ 2,000				0	▲ 2,000	
8/27 (水) 弊社予想	▲ 400	▲ 4,000	▲ 4,400				0	▲ 4,400	流動性供給▲3,500
8/28 (木) 弊社予想	▲ 1,000	▲ 2,500	▲ 3,500				0	▲ 3,500	
8/29 (金) 弊社予想	▲ 500	4,500	4,000				0	4,000	特別法人事業譲与税払い 交付税借入▲10,500期日12,500
週間合計	▲ 1,400	2,400	1,000	—	0	0	0	1,000	

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続き資金調達ニーズの強い展開が見込まれることから、レートは0.477%近辺での推移が予想される。債券レポ市場は、月末越えのT/Nが警戒されるなか、GC O/N物のレートは0.35～0.50%程度での推移が予想される。短国市場は、29日(金)に3M物の入札実施が予定されている。CP市場は、27日(水)に月末発行集中日が予定されており、発行案件がどこまで膨らむか動向が注目される。

主要なイベントは、国内では、28日(木)に中川審議委員 山口県金融経済懇談会における挨拶、29日(金)に8月の都区部消費者物価指数、7月の完全失業率・有効求人倍率、7月の鉱工業生産・出荷・在庫速報、海外では、25日(月)に7月の米新築一戸建て販売件数、28日(木)に4-6月期の米GDP改定値、29日(金)に7月の米個人所得・消費支出(PCE)などの発表が予定されている。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。